

不妊スクリーニング項目

ほとんどの検査は保険適応です。料金の詳細につきましては受付でお問い合わせください。

1~2 か月で下記の項目について異常がないか調べます。

①子宮因子	②子宮頸管因子	③卵管因子	④ホルモン因子	⑤男性因子	⑥免疫因子
-------	---------	-------	---------	-------	-------



【当院でのおおまかな治療方針】

- 原因不明不妊
タイミング6周期⇒人工授精 (IUI) 6周期
(クロミッド療法×3 ゴナドトロピン療法×3)
- 排卵障害 (グループ1)
ゴナドトロピン (LH 含む) 療法によるタイミング6周期
- 排卵障害 (グループ2)
タイミング8周期 (クロミッド療法×4 ゴナドトロピン療法×4)
- 男性不妊
ゴナドトロピン療法による人工授精 (IUI) 6周期

検査の時期	項目	解説
初診時 または 適宜	基礎体温④	目が覚めたときの体温を、婦人体温計ではかります。簡便な検査ですが、排卵の有無、排卵日予測、高温期の評価に役立ちます。睡眠時間や睡眠環境、前日の生活環境や食事状況・アルコール摂取の有無、四季の変化や空調設備による環境温度の変化など、さまざまな因子が影響します。
	クラミジア抗体・抗原③	血液検査で過去または現在の感染の有無を調べます。卵管閉塞や癒着を引き起こす可能性があります。また、通水検査前に必須の検査です。陽性、未治療の場合は抗原検査や抗生剤による治療を行います。
	風疹抗体検査	妊娠中に感染すると生まれてくる赤ちゃんが先天性風疹症候群（心奇形、白内障、難聴など）の原因になることがあります。抗体価が低い場合には、ワクチンを接種します。
	甲状腺ホルモン④	生理不順や流産の原因となる甲状腺疾患の有無を調べます。
	AMH (抗ミュラー管ホルモン)	卵巣にどれぐらいの卵子が残っているかを調べる検査です。 (自費6,800円)
	血算、生化採血	妊娠後に問題になる合併症がないかを調べるための検査です。 (35歳以上で半年以内に健康診断を受けていない方に実施します。)
	抗精子抗体⑥	抗精子抗体とは精子の子宮頸管内への侵入を妨げる物質です。頸管粘液は精子が子宮腔内や卵管内へ侵入するためのフィルターとなりますが、抗精子抗体がある場合、精子の運動を妨げる可能性があります。高抗体価 (SI値: >10) の場合は人工授精では妊娠が成立しなかったという報告があり、体外受精・胚移植を行うことが望ましいとされています。低抗体価 (SI値: <10) の場合や中抗体価 (SI値: 10前後) の場合は人工授精で妊娠成立が可能であるとされています。しかし、低抗体価~中抗体価の場合であっても人工授精での妊娠が成立しない場合は、体外受精・胚移植を行うことが望ましいとされています。(自費6,500円)

初診時または適宜	超音波検査①・④		子宮筋腫、子宮内膜ポリープ、卵巣嚢腫など不妊症の原因になる疾患を調べるとともに、卵胞発育等の所見から排卵日を予測する重要な検査です。
	精液検査⑤		不妊の1/2～1/3は男性因子です。2日以上7日以内の禁欲後に専用容器で採取していただき、早め(3時間以内)にお持ちください。(コンドームは使用できません)。提出前日までにお電話でご予約をお願いいたします。保険適応ですので、当日は旦那様の保険証をお持ちください。所見によっては再検査、漢方・ビタミン剤の処方、専門の泌尿器科への紹介、または人工授精や体外受精などをおすすめすることがあります。
	パートナーの方の感染症採血		人工授精の際、半年以内に感染症(HBs、HCV、HIV、梅毒・クラミジア)の検査を行っていない方は検査を受けていただきます(自費約7,000円)
生理 2～7日目	ホルモン検査 ④	LH、FSH、E ₂	まだ卵胞が発育する前の時期にこれらのホルモンを検査し、卵巣機能の評価、生理不順の診断を行います。
		PRL (プロラクチン) TRHテスト	生理不順の場合、排卵障害の原因となる潜在性高プロラクチン血症の有無を調べるためにTRHテストを行います。TRHテストは、甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH500)を注射して行う検査で、 <u>注射する前</u> 、 <u>注射15分後</u> 、 <u>30分後</u> 、 <u>60分後</u> に採血を行い、プロラクチンを測定します。検査は、平日12:00のみです。
生理 7日目～ 10日目	卵管通水検査①・③		子宮・卵管に生理食塩水を流して卵管閉塞の有無や、子宮内部の異常を調べます。 ※生理が来たらお電話にて予約をして下さい。
	検査時間(平日のみ) 16:00 16:30		
排卵 0～3日前	フーナーテスト②		精子が子宮頸管を通過できるか調べる検査です。2～5日間の禁欲後、性交をしていただき、その後30分～1時間あおむけで安静を保ってください。性交後3～12時間以内に受診してください。
	院内ホルモン迅速検査		E ₂ 、P ₄ 、LHを測定することにより、人工授精の方や、排卵時期が分かりにくい方や誘発剤を使用している方の正確な排卵時期を予測することができます。機器の関係上、 当日は時間厳守 をお願いいたします。
高温 5～9日目	ホルモン検査 ④	P ₄ 、E ₂	高温期のホルモン状態を調べ、黄体機能不全の診断をします。
空腹時	インスリン抵抗性		多のう胞性卵巣症候群(PCOS)の場合、インスリン抵抗性の有無を検査します。

(※) 生理〇日目とは、生理が始まった日を1日目と数えます。

☆妊娠を望む女性に対して、1日に400μg以上の葉酸摂取が推奨されています。葉酸は赤ちゃんの神経管の形成に重要な栄養素ということがわかっています。また、近年では発達障害との関連性も指摘されています。食事やサプリメントなどで摂取することができます。当院でもエレビットを販売しております。(税込4,500円/30日分)